

業績の概要と分析

連結決算の概要

平成23年度中間期の三井住友フィナンシャルグループ連結決算の概要は以下のとおりとなりました。

I 業績

平成23年度中間連結決算は、連結子会社337社、持分法適用会社49社を対象としています。

平成23年度中間期の業績は、連結粗利益は前年同期比51億円増益の1兆3,218億円となりました。これは、三井住友銀行において、同190億円の減益となった一方で、昨年5月に新たに連結子会社となった株式会社セディナの収益寄与があったこと等によるものであります。

この連結粗利益に、営業経費、不良債権処理額、株式等損益、持分法による投資損益等を加減した経常利益は、不良債権処理額が減少したこと等から、同58億円増益の5,464億円となりました。

これに、特別損益等を加減した中間純利益は、法人税等調整額が増加したこと等から、同1,037億円減益の3,137億円となりました。

◆ 連結子会社・持分法適用会社数

(単位：社)

	平成22年度中間期末	平成23年度中間期末	平成22年度末
連結子会社数	320	337	327
持分法適用会社数	48	49	47

◆ 損益の状況

(単位：百万円)

	平成22年度中間期	平成23年度中間期	平成22年度
連結粗利益	1,316,760	1,321,888	2,504,730
資金利益	660,539	658,702	1,317,651
信託報酬	1,052	695	2,335
役務取引等利益	358,518	393,755	766,230
特定取引利益	188,653	144,373	237,093
その他業務利益	107,995	124,361	181,419
営業経費	△ 655,630	△ 693,775	△ 1,355,322
不良債権処理額 ①	△ 107,094	△ 43,356	△ 220,162
貸出金償却	△ 60,552	△ 39,046	△ 156,571
個別貸倒引当金繰入額	△ 39,819	—	△ 63,574
一般貸倒引当金繰入額	△ 2,545	—	14,919
その他	△ 4,175	△ 4,309	△ 14,935
貸倒引当金戻入益 ②	—	14,118	—
償却債権取立益 ③	—	1,247	—
株式等損益	△ 22,582	△ 12,131	△ 91,949
持分法による投資損益	1,627	△ 40,647	△ 13,319
その他	7,528	△ 851	1,452
経常利益	540,609	546,493	825,428
特別損益	7,578	△ 1,114	1,884
うち減損損失	△ 1,414	△ 1,560	△ 5,411
うち償却債権取立益 ④	1,307	—	2,813
税金等調整前中間(当期)純利益	548,187	545,378	827,313
法人税、住民税及び事業税	△ 46,527	△ 49,858	△ 97,446
法人税等調整額	△ 27,318	△ 118,097	△ 143,325
少数株主損益調整前中間(当期)純利益	474,341	377,422	586,542
少数株主利益	△ 56,848	△ 63,664	△ 110,646
中間(当期)純利益	417,493	313,758	475,895
与信関係費用 ①+②+③+④	△ 105,787	△ 27,989	△ 217,348
<参考>連結業務純益(単位：億円)	6,006	5,614	10,020

(注) 1. 連結粗利益＝(資金運用収益－資金調達費用)＋信託報酬＋(役務取引等収益－役務取引等費用)＋(特定取引収益－特定取引費用)＋(その他業務収益－その他業務費用)
 2. 平成23年度中間期より、従来特別損益に計上していた貸倒引当金戻入益及び償却債権取立益を、経常利益の内訳科目として計上しております。
 3. 連結業務純益＝三井住友銀行業務純益(一般貸倒引当金繰入前)＋他の連結会社の経常利益(臨時要因調整後)＋持分法適用会社経常利益×持分割合－内部取引(配当等)

また、預金残高は、平成22年度末比1兆574億円減少して80兆9,414億円、譲渡性預金残高は、同8,410億円増加して9兆2,074億円となりました。

一方、貸出金残高は、同1兆6,455億円増加して62兆9,939億円、有価証券残高は、金利動向を踏まえたオペレーションを実施した結果、

債券の保有残高が減少したこと等から、同5兆1,573億円減少して34兆7,947億円となりました。

純資産は、6兆9,603億円となりました。そのうち株主資本は、中間純利益を計上した一方で、第1回第六種優先株式の取得・消却等を実施したこと等により、同695億円増加して、4兆9,909億円となりました。

◆資産・負債・純資産

(単位：百万円)

	平成22年度中間期末	平成23年度中間期末	平成22年度末
資産	131,409,208	133,087,119	137,803,098
うち有価証券	33,435,725	34,794,775	39,952,123
うち貸出金	63,532,671	62,993,906	61,348,355
負債	124,210,597	126,126,738	130,671,024
うち預金	78,096,908	80,941,463	81,998,940
うち譲渡性預金	8,977,715	9,207,422	8,366,323
純資産	7,198,610	6,960,381	7,132,073

II 有価証券の評価損益

平成23年度中間期末の有価証券の評価損益は、株式の評価益が減少したこと等により、平成22年度末比2,087億円減少して2,220億円の評価益となりました。このうち、純資産直入の対象となる「その他有価

証券(含むその他の金銭の信託)」の評価損益は、同2,194億円減少して1,514億円の評価益となりました。

◆有価証券の評価損益

(単位：百万円)

	平成23年度中間期末				平成22年度末		
	評価損益	平成22年度末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	70,556	10,699	70,818	△ 262	59,857	61,389	△ 1,531
その他有価証券	151,614	△ 219,285	544,748	△ 393,134	370,899	720,864	△ 349,965
株式	54,595	△ 257,361	369,407	△ 314,811	311,956	487,773	△ 175,817
債券	97,930	21,160	104,051	△ 6,121	76,770	108,640	△ 31,870
その他	△ 911	16,916	71,289	△ 72,200	△ 17,827	124,449	△ 142,277
その他の金銭の信託	△ 142	△ 184	—	△ 142	42	42	—
合計	222,028	△ 208,771	615,567	△ 393,539	430,799	782,295	△ 351,496
株式	54,595	△ 257,361	369,407	△ 314,811	311,956	487,773	△ 175,817
債券	168,490	31,851	174,864	△ 6,374	136,639	170,021	△ 33,382
その他	△ 1,057	16,739	71,295	△ 72,352	△ 17,796	124,500	△ 142,297

- (注) 1. 「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金並びに「買入金銭債権」中の貸付債権信託受益権等も含めております。
 2. 評価損益は、株式(外国株式を含む)については主に(中間)連結決算日前1カ月の平均時価に、それ以外は(中間)連結決算日の時価に基づいております。
 3. 「その他有価証券」及び「その他の金銭の信託」については、時価評価しておりますので、評価損益は貸借対照表価額と取得原価(又は償却原価)との差額を計上しております。
 なお、平成23年度中間期末のその他有価証券の評価損益のうち、時価ヘッジの適用により費用に計上した額が1,502百万円ありますので、純資産直入処理の対象となる額は、同額加算されます。また、平成22年度末のその他有価証券の評価損益のうち、時価ヘッジの適用により収益に計上した額が1,153百万円ありますので、純資産直入処理の対象となる額は、同額減算されます。
 4. 「その他有価証券」として保有する変動利付国債については、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第25号)を踏まえ、合理的に算定された価額をもって貸借対照表価額としております。

III 連結自己資本比率

平成23年度中間期末の連結自己資本比率は、平成22年度末の16.63%から0.54%上昇して17.17%となりました。

連結自己資本比率の分子となる自己資本額は、中間純利益の計上により利益剰余金が増加したものの、第1回第六種優先株式の消却や有

価証券の含み益の減少等により、同422億円減少して8兆3,906億円となりました。また、分母となるリスク・アセット等は、為替の円高による資産の減少等により、同1兆8,330億円減少して48兆8,605億円となりました。

◆ 連結自己資本比率(第一基準)の状況

(単位：百万円)

	平成22年度中間期末	平成23年度中間期末	平成22年度末
Tier 1 (基本的項目)	6,362,168	6,371,818	6,323,995
Tier 2 (補完的項目)(自己資本への算入額)	2,360,823	2,364,419	2,536,958
控除項目	△ 451,126	△ 345,617	△ 428,082
自己資本額	8,271,865	8,390,621	8,432,871
リスク・アセット等	51,612,844	48,860,598	50,693,696
連結自己資本比率	16.02%	17.17%	16.63%
Tier 1 比率	12.32%	13.04%	12.47%

IV 繰延税金資産

繰延税金資産は、繰延税金負債と相殺後の純額で、平成22年度末比904億円減少して5,337億円となりました。

繰延税金資産の計上は、財務の健全性の確保の観点から前期に引き続き保守的に行っております。

◆ 繰延税金資産の状況

(単位：百万円)

	平成22年度中間期末	平成23年度中間期末	平成22年度末
繰延税金資産純額	691,508	533,778	624,219
繰延税金資産純額 / Tier 1 比率	10.9%	8.4%	9.9%